

外国ルーツの住民が持つ可能性

～パキスタン出身の協会会員による講演会を通して～



OLSS(Outliers Secondary School)の生徒たち (写真提供 OLSS)

私は国分寺市内にある東京経済大学の教員として「英語」「言語学」などを担当しています。また、大学の国際交流活動に携わっています。東京経済大学国際交流委員会の主催で、2021年10月11日に行われた国際交流講演会の様子をお届けします。講師は国分寺市国際協会会員であるパキスタン出身のラジ・アフマドさんです。私は企画・通訳担当としてラジさんと共に講演会に参加しました。

私が初めてラジさんにお会いしたのは2021年の春のことです。「言語学」の授業で外国語を紹介してくれる方を募集したところ、ウルドゥー語話者として応募してくれたのがラジさんでした。2020年に来日したばかりで、国分寺市国際協会の日本語教室で熱心に日本語を学んでいました。とても礼儀正しい控えめな方だという印象を持ちました。

話をするうちに、私はラジさんがパキスタン北部の故郷の村で女の子のための学校を設立し、その運営をボランティアとして行っていることを知りました。そこで、東京経済大学でZoomによる「国際交流講演会」を企画し、ラジさんに講演をしていただくことにしました。

講演は「Girls Education in Gilgit and Role of OLSS in Minawar (ギルギッドにおける女子教育とミナワーにおけるOLSSの役割)」と題して英語で行われました。東京経済大学の学生、教職員、国際協会会員合わせて約130名がこの講演会に参加しました。



パキスタン北部ギルギッド・バルチスタン地域（写真提供 Ultimate Adventure Tours）

ラジさんの故郷であるパキスタン北部のギルギッド・バルチスタン地域は美しい山々に囲まれ、世界中から登山客が訪れます。ここは、アフガニスタン、中華人民共和国、インドのなどと国境を接している地域です。

パキスタンの農村部では、女の子が大きくなったら家の手伝いをしたり、結婚したりすることが期待されているため、教育の機会は限られています。家庭に子供を学校に通わせる余裕がない場合もよくあります。ラジさんはアメリカやマレーシアの支援者から寄付を募って 2010 年に女の子の教育を目的とした学校をミナワー村に設立し、10 年以上にわたってボランティアとして学校の運営に携わってきました。小さな教室から始まった学校は今では OLSS（Outliers Secondary School *おおよそ日本の高校に相当）に発展しました。

最初のうちは、女の子のための学校を作ることに賛成しない村人もいたそうです。しかし、ラジさんたちボランティアは根気強く村人と話し合いました。そして、学校に親を招いて生徒の表彰式をしたり、祭日には生徒たちに家族と食べるための食糧を持たせたりしました。こうした長年の努力が実り、今では学校の建設を村人が総出で手伝ってくれるようになりました。また、OLSS を卒業してカレッジに進学し、ミナワー村に先生として帰ってきた女の子も現れました。今では、OLSS を卒業した女の子たちは皆カレッジに進学したいという夢を持つようになりました。かつて女の子には小学校 5 年生までしか就学の機会がなかったミナワー村は変わろうとしています。



上：学校の建設を手伝う村人
右：OLSS の生徒たち
(写真提供 OLSS)



この講演会に参加した国分寺市国際協会会員の方々からたくさんの感想が寄せられました。一部をご紹介します。

- 「日本でもまだ男女の格差は解消されていないが、パキスタンでもかなり深刻な格差があることに驚きました。その格差を教育の面から少しずつ解消しようと、学校の設立及び生徒の進学の手助けを行っていることに感動しました。」
- 「パキスタンでは男性と女性で教育に差があったという状況から女子のための学校を作り、彼女たちの将来の道を広げるために尽力しているラジさんの活動が素晴らしいと感じました。特に午前中は学校で勉強をし、午後は裁縫の学校に通い、技術を身につけられる機会があるというのは彼女たちの可能性を伸ばす点でいいと感じました。」



Muqaddas Vocational Sewing School (*) の様子 (写真提供 OLSS)
(*) OLSS の生徒と地元の女性のために開設された縫製学校

この講演を通じて、私はさまざまな事を学びました。地域を変えるためには根気よく人々との対話を重ねる必要があること、地域の一人一人が持てる力を持ち寄れば大きな力になること、余裕がある時には惜しみなく他人に与えることで、自分も含めた社会全体が豊かになることなどです。

そしてラジさんのような外国ルーツの住民には地域社会に貢献できる大きな潜在能力があるという確信を新たにしました。2020年に文部科学省が発表した「外国人の子供の就学状況等調査（確定値）について」により、日本に住む約2万人の外国籍の子供が不就学あるいは就学状況が確認できていない状態にあることが明らかになりました。今後は、国分寺市でも外国ルーツの子供に対する支援が課題の一つとなるでしょう。学校に通いたくても通えない子供はパキスタンのミナワー村だけでなく、私たちのすぐ近くにもいるのです。このような子供たちに手を差し伸べるにはどうしたらよいのでしょうか。ラジさんのミナワー村での活動には大きなヒントが隠されているように思います。

近年、日本全国の外国ルーツの住民を支援対象とした団体の間では、これまでのような「援助する側」と「される側」という構図から脱却し、外国ルーツの住民も含めた全員が持てる力を発揮して問題を解決しようという機運が高まっています。ラジさんのような新しい隣人は、私たちの地域社会の発展に欠かせない大きな視野や活力の源であり、共に地域社会を築いてゆくための大切なパートナーであると言えるのではないのでしょうか。

- 文部科学省「外国人の子供の就学状況等調査結果（確定値）について」令和2年3月27日
https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/09/1421568_00001.htm
- Outliers Secondary School Minawar Gilgit フェイスブック
<https://www.facebook.com/pages/category/Community-Organization/Outliers-Secondary-School-Minawar-Gilgit-100386301461959/>
- Ultimate Adventure Tours（ラジ・アフマドさんが経営する旅行会社）
<http://ultimateadventure.pk/>